

(仮称)奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能等の強化

～ 観光立国実現に向けた基盤整備 ～

平成30年11月

【担当省庁】 国土交通省

国にお願いすること

■ 整備促進に必要な予算確保

(仮称)奈良ICへのアクセス整備事業の推進など、交通結節点機能等の強化に資する**道路整備予算の確保**

【奈良県における取組】


- ・住民の積極的なご協力により、仮線工事に必要な買収地の約80%を確保
(平成30年10月末時点)
- ・平成31年度に鉄道高架化工事(仮線工事)着手予定

○ (都)西九条佐保線

- ・京奈和自動車道と一体的な整備
- ・京奈和自動車道 (仮称) 奈良ICへの唯一の1次アクセス道路
- ・奈良市南部のまちづくりの骨格となる道路

○ 鉄道高架化と新駅設置

- ・県内初のICと駅との交通結節点
- ・鉄道による地域分断の解消
- ・踏切除却による安全性向上



インバウンド等の受け入れ環境に対する取組

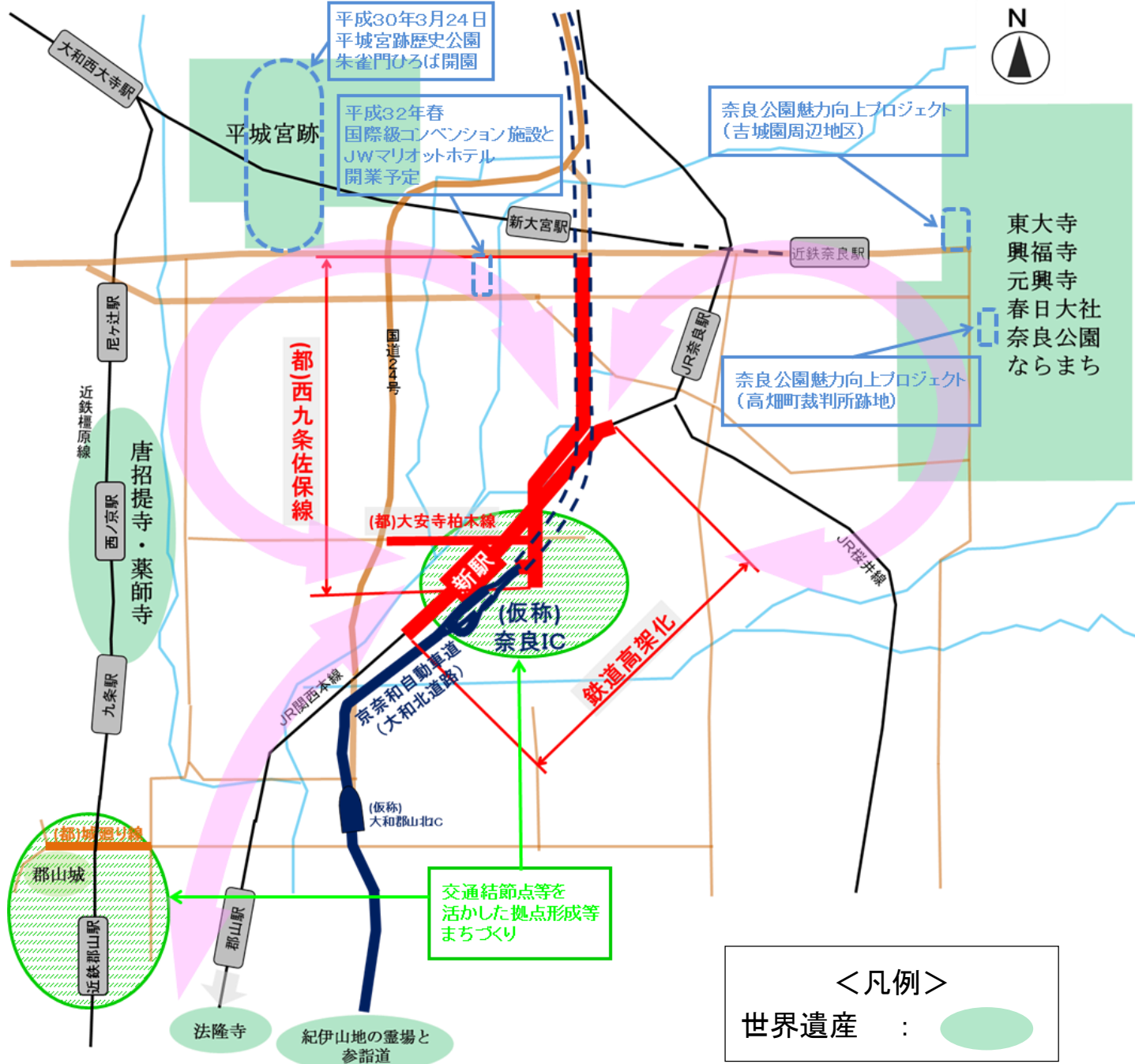
- 宿泊機能の充実
- 魅力ある拠点施設等の充実・強化

■ 我が国の観光立国の実現に大きく貢献

新駅を核とした**新たな観光ルートの創出**と、(仮称)奈良ICへの**アクセスの構築**により、**国を代表する世界遺産等を結ぶ広域的な周遊観光への発展**が期待出来る。

■ 都市のコンパクト&ネットワーク化

ICと新駅の交通結節点機能を活かした拠点形成等によるまちづくり



総事業費	
【奈良IC周辺整備に係る概算事業費】	
・西九条佐保線整備等	約250億円
・JR関西本線高架化	約130億円
・新駅設置	約20億円
・駅前広場整備	約18億円
総事業費	約418億円